

# 八戸市総合計画等推進市民委員会の 議事運営方法等について



総合政策部 政策推進課



## < 目次 >

### 【説明事項】

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 1. 市民委員会設置の背景と目的 | … 2 |
| 2. 総合計画の概要       | … 3 |
| 3. 総合戦略の概要       | … 4 |
| 4. 進行管理のレベル      | … 7 |
| 5. 市民委員会の役割      | … 8 |

### 【審議事項】

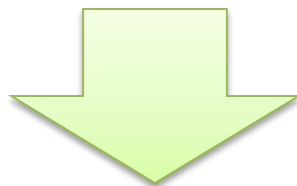
- |               |     |
|---------------|-----|
| 6. 会議の運営方法（案） | … 9 |
| 7. 会議の開催日程（案） | …10 |





## 市民委員会を設置する理由とは

- 八戸市では次の計画を策定しています。
  - (1) 第6次八戸市総合計画（計画期間：H28～R2年度）
  - (2) 第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：R2～6年度）
 ※両計画の詳細については、次ページ以降で説明します。
- 2つの計画に掲載している内容を着実に推進するため、PDCAサイクルによる適切な進行管理を実施します。
- PDCAサイクルのCheck（評価・効果検証）については、妥当性・客観性を担保する必要があるため、外部有識者の参画が重要となります。



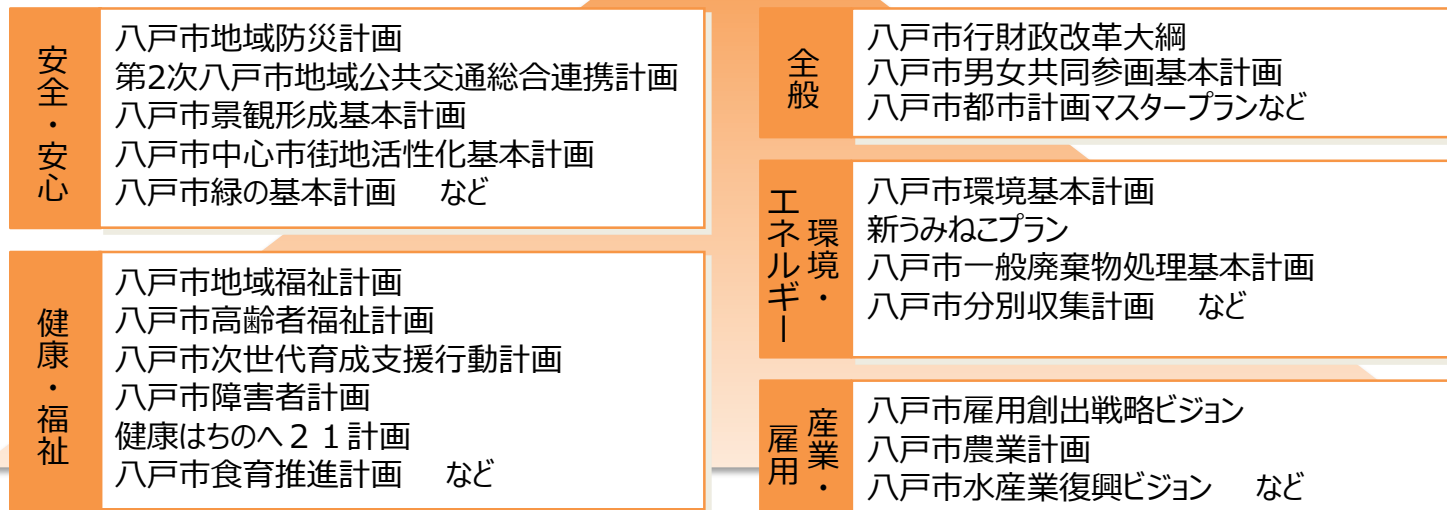
Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のことです。

八戸市の附属機関として「八戸市総合計画等推進市民委員会」を設置

- 総合計画とは、まちづくりの基本的な方向性を示す計画で、その地域における行政運営や市民・民間活動の長期的かつ総合的な指針となり、それぞれの分野のまちづくり計画の最上位計画です。
- また、思い描く、将来都市像を実現するために、誰が、どのような施策・事業に取り組んでいくのかを総合的かつ体系的に整理しています。

## 総合計画

### 八戸市の諸計画の最上位計画





# ■ 総合戦略の概要① (第1期)

国や県をはじめとする関係機関等との連携や、第6次八戸市総合計画との連動を図り、取組の相乗効果を最大限に発揮しながら、まち・ひと・しごと創生の推進を図るため、平成27年度に「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

## 第1章 人口ビジョン

- 当市の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関し市民との認識の共有を目指す。
- 今後のまちづくりの方向を踏まえ、自然増減や社会増減に関する仮定を設定し、「人口の将来展望」として、当市の将来人口の推計を行う。

## 第2章 総合戦略

- 人口ビジョンを踏まえ、今後5年間の政策の基本目標と具体的な施策を位置づける。

基本目標

- 1 多様な就業機会を創出する
- 2 新しい人の流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 住み続けたいまちをかたちづくる

【計画期間】 H27(2015)～R1(2019)年度

【進行管理】 数値目標や重要業績評価指標(KPI)の達成度により、有識者や市民参画のもと、毎年度効果検証を行う。

## 【参考】策定経過 (平成27年度)

4月 1日	第1回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
5月11日	第2回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	基本方針
22日	第1回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	↓
6月 3日	市議会議員全員協議会	
8月 4日	第3回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	素案
6日	市議会議員全員協議会	↓
7日	第2回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	
下旬	グループヒアリングの実施	
24日	地域団体	
28日	子育て世代	
31日	起業支援団体、学生、市民活動団体	
9月 4日	第4回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	原案
14日	パブリックコメント(～10/13)	↓
30日	市議会各党派等からの意見聴取	
	第3回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	
10月23日	第5回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	案
26日	市議会議員全員協議会	↓
27日	第6回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	



# ■ 総合戦略の概要② (第2期)

第1期総合戦略での取組を継承・拡充するとともに、引き続き国や県をはじめとする関係機関等との効果な連携により、地域創生に向けた取組を着実に推進するため、令和元年度に第2期「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

## 第1章 人口ビジョン

- 当市の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関し市民との認識の共有を目指す。
- 今後のまちづくりの方向を踏まえ、自然増減や社会増減に関する仮定を設定し、「人口の将来展望」として、当市の将来人口の推計を行う。

## 第2章 総合戦略

- 人口ビジョンを踏まえ、今後5年間の政策の基本目標と具体的な施策を位置づける。

基本目標

- 1 多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす
- 2 新しい人の流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
- 4 住み続けたいまちをかたちづくる

### 【参考】策定経過 (令和元年度)

10月 8日	第1回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
11月 5日	第2回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	基本方針
21日	市議会総務協議会	
12月13日	第1回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	原案
令和2年 2月 6日	第3回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
6日	パブリックコメント (~3/6)	
21日	第2回 八戸市まち・ひと・しごと創生懇談会	案
3月10日	第4回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	
18日	市議会総務協議会	
24日	第5回 八戸市まち・ひと・しごと創生本部	策定

【計画期間】 R2(2020)~R6(2024)年度の5年間

【進行管理】数値目標や重要業績評価指標(KPI)の達成度により、有識者や市民参画のもと、毎年度効果検証を行う。



# ■ 総合戦略の概要③

## 基本目標（数値目標 R7年）

## 展開する施策とKPI

## 主な個別施策

### ①多様な就業機会を創出する、これを支える人材を育て活かす

- ◆ 農業産出額：149億円以上  
【H29y】149億円
- ◆ 八戸港水揚げ金額：208億円  
【H30y】181億円
- ◆ 製造品出荷額等：5,400億円  
【H29y】5,341億円
- ◆ 就職率：現状より増加  
【H30y】43.3%

### ①地域産業の成長・発展

- ・認定農業者数：128経営体／【R1y】138経営体
- ・水産加工品生産額：388億円／【H29y】389億円
- ・コーディネーター活用件数：115件／【H30y】94件
- ・企業誘致件数：139件／【H30y】115件
- ・八戸港コンテナ貨物取扱量（実入り）：48,200TEU／【H30y】37,322TEU

### ②雇用・起業・事業継承の促進

- ・八戸無料職業紹介所利用者数：300人／【H26～30y】平均253人
- ・はちのへ創業・事業継承サポートセンターを活用して起業した件数：40件／【H30y】36件

### ②新しい人の流れをつくる

- ◆ 社会増減率：現状より改善  
【H30y】▲0.49%

### ①移住・人材還流・若者定着の促進

- ・八戸市無料職業紹介所等におけるU I Jターン就職者数：100人／【H26～30y】90人
- ・市内高等学校卒業就職者の県内就職率：現状より増加／【H30y】53.4%

### ②地元とのつながりの拡大

- ・八戸市公式SNSの登録者数：45,547人／【R1y】39,967人
- ・企業版ふるさと納税件数（5年間の延べ件数）：5件／【H31y】1件

### ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆ 合計特殊出生率：1.67  
【H30y】1.46
- ◆ 人口千人あたり出生者数：7.28人  
【H30y】6.97人

### ①安心して子どもを産み育てられる環境の充実

- ・この地域で子育てをしたいと思う親の割合：92.2%／【H30y】91.8%

### ②女性活躍の推進、多文化共生の地域づくり

- ・女性チャレンジ講座受講生数：380人／【R1y】230人
- ・日本語講座受講者数：280人／【R1y】225人

### ③誰もが活躍する地域社会の推進

- ・町内会加入率：60%／【R1y】54.7%
- ・シニアボランティア活動実人数：148人／【H31y】113人

### ④住み続けたいまちをかたちづくる

- ◆ 平均寿命（全国平均との差）  
：全国平均との差を縮小  
【H27y】男性1.89歳、女性1.15歳
- ◆ 都市機能誘導区域の地価公示価格  
：中心街地区135,000円、  
田向地区43,000円、  
八戸駅周辺地区64,000円  
【R1y】中心街地区131,000円、  
田向地区42,700円、  
八戸駅周辺地区63,600円

### ①地域における安心の確立

- ・認知症サポーター数：29,000人／【H31y】18,148人
- ・災害時要援護者支援に関する協定の締結数（累計）：30件／【R1y】21件
- ・自主防災組織の活動カバー率（活動範囲の世帯数の割合）：88.3%／【H26y】82.9%

### ②拠点機能の強化と広域連携の推進

- ・連携中枢都市圏における連携事業数：85事業／【R1y】80事業
- ・空き店舗・空き地率：8.2%／【H30y】12.1%
- ・空き家バンク登録物件の成約件数：6件／【R1y】1件

### ③観光地域づくり・ブランディングの推進

- ・宿泊者数：86万4千人／【H30y】83万人
- ・宿泊者観光消費額：195億円／【H30y】187万人

### ④時代にあった個性あふれる地域の形成

- ・市内プロスポーツチームのホームゲーム来場者数（1試合平均）：1,800人／【H30y】1,630人
- ・中心市街地の歩行者通行量：75,600人／【H30y】61,726万人

- ① 農水畜産業の競争力強化
- ② 中小企業及び小規模事業者の経営強化と企業の立地促進
- ③ 販路の拡大と八戸港の物流機能の強化
- ④ 雇用・就業の支援
- ⑤ 起業の促進
- ⑥ 事業継承の促進

- ① 移住・U I Jターンの促進
- ② 高等教育機関との連携や若者の地元定着の促進
- ③ 地域の魅力の情報発信の充実
- ④ 「関係人口」の創出・拡大
- ⑤ 当市を応援する企業との連携強化

- ① 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実
- ② 結婚の希望をかなえる施策の充実
- ③ ワーク・ライフ・バランスの推進
- ④ 女性活躍の促進
- ⑤ 多文化共生の推進
- ⑥ 協働のまちづくりの推進、市民活動の促進
- ⑦ 高齢者・障がい者等への支援の充実、社会参加の促進

- ① 健康寿命の延伸に向けた施策の充実
- ② 質の高い医療環境の整備
- ③ 防災力の強化
- ④ 交通ネットワークの充実
- ⑤ 広域連携の推進
- ⑥ コンパクトシティの推進、空き家・空き店舗対策の強化
- ⑦ 観光ブランドの強化と誘客の推進
- ⑧ 観光客の受入態勢の整備
- ⑨ 文化財等の保存・活用による地域活性化
- ⑩ アートのまちづくり・本のまち八戸の推進
- ⑪ スポーツ・健康まちづくりの推進
- ⑫ 中心市街地活性化、陸奥湊駅前地区活性化の推進
- ⑬ 地方創生SDGsの推進
- ⑭ Society5.0に向けた未来技術の活用による生産性向上と新たな産業の創出

【年表記の凡例】

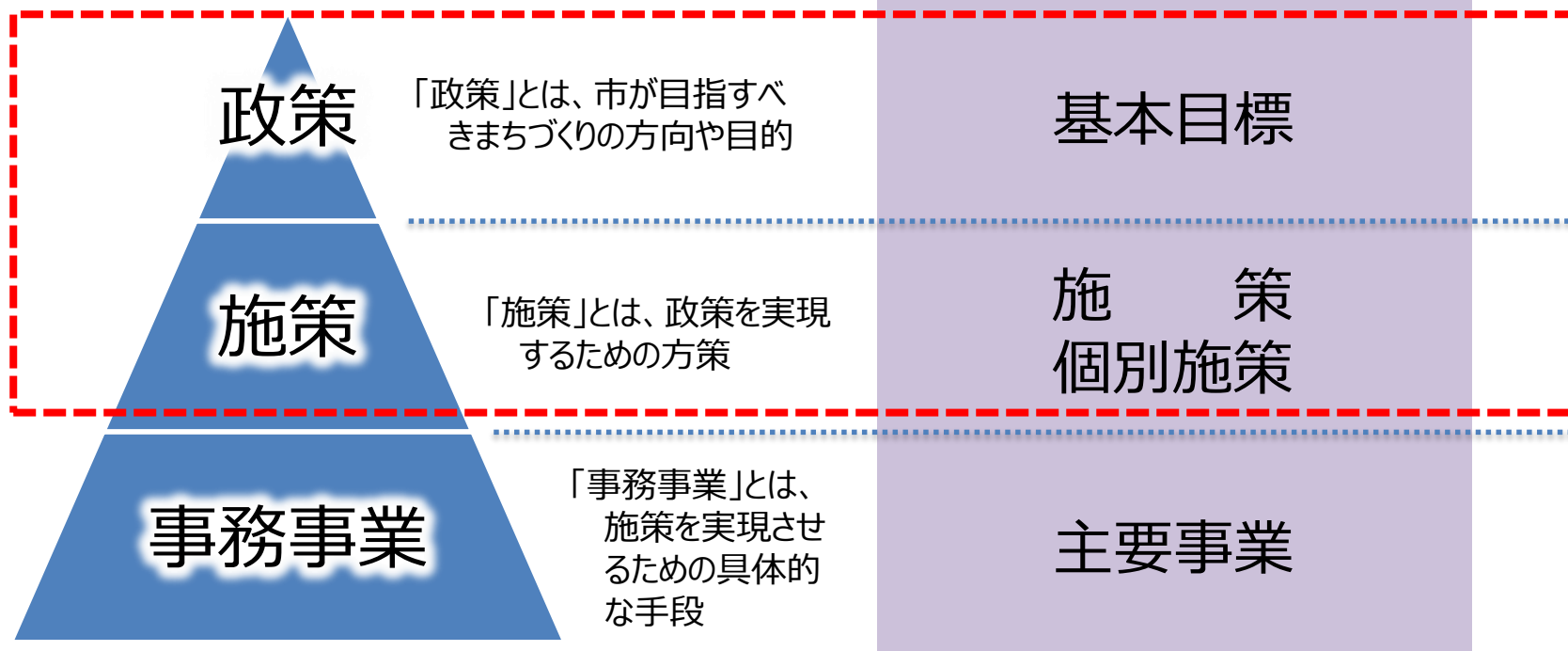
H○y…平成○年、R○y…令和○年



# ■ 進行管理のレベル

- 行政計画は、一般的に「政策」「施策」「事務事業」という体系になっており、計画の評価手法も「政策評価」、「施策評価」、「事務事業評価」という体系になっています。
- 総合計画等推進市民委員会には、主に「政策評価」「施策評価」を行っていただきます。  
※市民委員会の具体的な役割については、次ページ以降で説明します。

## 総合戦略の体系







## (1) 総合戦略に関する役割

- ① 総合戦略の数値目標や重要業績評価指標（K P I<sup>\*</sup>）の達成度等により、総合戦略で掲げた取組の効果を検証していただきます。
- ② 総合戦略の推進のために国から交付された地方創生関連交付金を活用し実施した事業の効果について、検証していただきます。

※KPI…Key Performance Indicator

## (2) 総合計画に関する役割

総合計画で重点的に取り組むこととしている戦略プロジェクトの各施策の進捗状況や施策を推進するために有効かつ現実的な改善点等を議論していただき、その内容を意見書としてまとめ、市長に提出していただきます。

※令和2年度は実施しません。現在策定休止中の第7次総合計画の進行状況により令和4年度以降は実施する可能性があります。



**市民委員会から提出された意見は、庁内で情報共有し、次年度以降の事業立案の検討など、市政運営の参考とさせていただきます**

【参考】八戸市総合計画推進市民委員会規則に定める役割

- ① 総合計画の実施状況の調査審議に関すること
- ② 総合計画の推進に関する重要な事項について意見を述べること
- ③ 八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証に関すること





## 1. 会議の開催回数

令和2年度は3～4回開催予定

## 2. 案件ごとの審議の進め方

### ○総合戦略について

#### ①総合戦略の効果検証（第2回委員会）

- 第2回委員会で第1期総合戦略に定めた数値目標及びK P Iの動向を提示します。
- 第2期総合戦略を説明させていただき、第1期総合戦略に定めた数値目標及びKPIを踏まえたご意見を伺います。

#### ②地方創生関係交付金の効果検証（第3回委員会）

- 国の交付金を活用した事業の効果を検証していただきます。
- 開催前に資料を送付し、会議当日までに内容をご確認いただく予定としております。

※令和2年度は総合計画に関する審議等はありません。

## 3. 会議開催までの流れ

- ① 会議の開催前に政策推進課から委員の皆様へ資料を送付します。
- ② 委員の皆様は、資料の内容をご確認いただき、疑問点や意見等がありましたら、様式(事前質問票)に必要事項を記載し、ご提出ください。
- ③ お寄せいただいた質問等は、会議の開催前もしくは会議当日に回答・報告いたします。



# ■ 会議の開催日程（案）

日程	会議	内容
10月19日（月） 14：00～	第1回	委嘱状交付、組織会、議事の進行方法等の確認
11月16日（月） 14：00～	第2回	第1期まちひとしごと創生総合戦略の効果検証
12月中旬 14：00～	第3回	地方創生関係交付金の効果検証
12月下旬 14：00～	第4回	予備日

※日程は今後変更となる場合があります。  
※来年度以降の予定は未定です。

